

健 第 221 号
平成28年 5月12日

(公社)岡山県医師会長 殿
(一社)岡山県病院協会長 殿

岡山県保健福祉部長

マダニ等への注意喚起について

このことについて、県内で重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生が確認され、別添のとおりプレス発表を行いました。SFTS感染者への早期診断のためにも、貴会員へ周知方よろしくお願ひします。

なお、本通知は、次のホームページに掲載しておりますことを申し添えます。

記

岡山県保健福祉部からの医療安全情報等のお知らせ
<http://www.pref.okayama.jp/hoken/hohuku/tuuchi/top.htm>

平成28年5月12日

お知らせ

課名	健康推進課
担当	久永、森
内線	2709、2743
直通	226-7331

マダニに注意しましょう

県内において今年度初めて、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生が確認されました。

感染源となるマダニは、春から秋にかけて活動期といわれていることから、マダニに咬まれない予防策について、県民への周知協力をお願いします。

本発表は、感染症の発生又はまん延の防止を図るため、県民へ注意喚起等を行うものです。報道に当たっては、感染症の患者等の人権尊重には御配慮、御理解いただきますようお願いいたします。

感染予防対策

- ・草むらなどに入るときには、長袖、長ズボン、手袋等を着用する。
- ・服の上や肌の露出部分に防虫スプレーを噴霧する。
- ・地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりするのはやめる。
- ・屋外活動後は、すぐに入浴し、体をよく洗い、新しい服に着替え、脱いだ服はすぐに洗濯する。
- ・マダニに咬まれたら、できるだけ病院（皮膚科）で取ってもらう。発熱等の症状が認められた場合は、早めに病院（内科）を受診し、野山等で活動したことを伝える。

患者の概要

患者住所	備中保健所井笠支所管内
年齢性別	80歳代、女性
主な症状	発熱、嘔吐、血小板減少、白血球減少等

マダニに関する情報については、岡山県ホームページをご覧ください。

健康推進課

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/36/>

岡山県感染症情報センター

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/309/>

マダニに 注意!



フタトゲチマダニ(成虫:3.5mm)
岡山県環境保健センター提供

～野外で活動する方へ～

マダニは、県内に広く分布していると考えられます。活動が活発になると言われている春から秋だけでなく、冬も生息しており、年間を通じて咬まれないための予防対策が必要です。

マダニに咬まれないために

- ① 草むらなどに入るときには、肌が露出しないように、袖口を絞れる長袖、長ズボン、手袋、足を完全に覆う長靴等を着用しましょう。また、色の薄い服はくっついたダニを見つけやすくなります。
- ② 服の上や肌の露出部分に、防虫スプレーを噴霧しましょう。
- ③ 地面や草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。

野外で活動したあとは

- ① すぐに入浴し、体や頭をよく洗い、新しい服に着替えましょう。
- ② 脱いだ衣服はすぐに洗濯するか、ナイロン袋に入れて口を縛っておきましょう。

マダニに咬まれたら

- ① 吸着しているマダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがありますので、できるだけ病院（皮膚科）で取ってもらいましょう。
- ② 発熱等の症状が認められた場合は、早めに病院（内科）を受診し、野山等で活動したことを伝えてください。

野外にいる吸血性のダニとして、マダニ(1~4mm)の他、小型のツツガムシ(0.5~1mm前後)などが知られています。これらは、咬まれても、ほとんど痛みや痒みを感じません。これらのダニの中には、病原体を保有しているものもあり、咬まれると、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱、つつが虫病などの病気になり、重症になると死に至ることもあります。

病名	潜伏期間	症状
SFTS	6日~2週間	発熱、倦怠感、食欲低下、消化器症状、頭痛、筋肉痛等
日本紅斑熱	2~8日	発熱、発しん、刺し口、倦怠感等
つつが虫病	5~14日	発熱、発しん、刺し口、倦怠感等